

---

New Technologies for Prolonging Coke Oven Life

(Shizuki Kasaoka)

(Takeshi Andou)

---

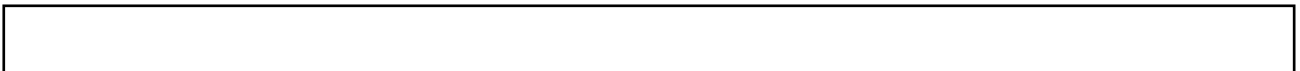
:

2

---

Synopsis :

New10.6eFBT-1.705aFppnSFAKONPVMo ( )TJN1(S)8y17.9 (no)3 (p)8sby34E5.0670y19.9 (n.



## New Technologies for Prolonging Coke Oven Life



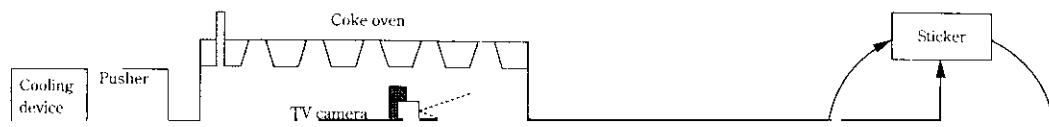
### 要旨

コークス炉の炉体長寿命化を図るために、炭化室レンガ損傷防止および環境改善について、いくつかの有効な技術開発を行った。レンガ損傷の主原因となるカーボン付着を防止する技術として、ガラスコーティング法と炉壁クリーナ装置を開発した。ガラスコーティング法は、押出機搭載型吹付装置により、特殊釉薬を炭化室レンガ全表面に数分間でコーティングを行い、カーボン付着抑止効果のあ

Shizuki Kasaoka  
水島製鉄所 製鉄部製  
鉄技術室長(部長補)

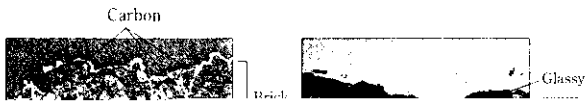
Takeshi Andou  
水島製鉄所 製鉄部コ  
ークス課長

は、コークス押出作業と並行して、ガラス層表面を自動的に圧空クリーニングする装置である。また、コークス押出発塵を低減させる端フリュー昇温装置、およびコークス炉煙突煤塵を低減させる炉内



 Rotating hard brick





量が急増し強固なカーボンが形成されるのに対し、コーティング窯では、こうした強固なカーボン形成を抑制しているものと推定される。ガラスコーティング膜の寿命は、コーティング後の炉内雰囲

